

目次

□巻頭言 変動期は平常期……………最上武雄/1
 相模川流域下水道左岸幹線の機械掘削計画……………茂森拓/2
 東北新幹線岡トンネルの施工概要……………佐野茂雄/6
 石勝線建設の工事現況……………岩田伸雄/11
 大清水トンネルの工事現況……………宮崎弘/18

グラビヤ—本格化した上越新幹線工事

T. B. M による休山配水トンネルの施工実績……………戸田義郎/25
 住吉本住諸康伸一
 新しい輸送システムの実施例……………古泉栄一/32
 ケミカル・インジェクション工法について……………川上高弘/37
 中村正邦

□随想

ギリシャとローマ……………中沢式仁/42
 エネルギー危機を想う……………竹野正二/45
 これからの住宅と住宅都市……………井上十三男/48
 今日もまた「道路さん」は行く……………藤原武/52
 海底と鉄道……………持田豊/54
 ラテンアメリカとヨーロッパ(4)……………加藤三重次/57

ISO/TC 127 東京会議報告

ISO/TC 127 東京会議について……………東京会議実行委員会/64
 ISO/TC 127/SC 2 会議報告……………ISO部会/68
 第2委員会

□建設機械化講座 第125回

現場フォアマンのための土木と施工法

XVII. 建設機械概説

12. エンジン(その1)……………東孝行/81

□建設機械化研究所抄報 <No. 100>

296. インガーソルランド SP-54 形振動ローラ性能試験……………/85
 297. サカイ TS 350 形タイヤローラ性能試験……………/86
 298. 三菱 LG 3 形モータグレーダ性能試験……………/87

□文献調査

新しく開発されたアスファルトフィニッシャ……………広報部会/90
 文献調査委員会
 ニュース……………(編集部)/91
 行事一覧……………/92
 編集後記……………(中野・桜沢・土居)/94

◀表紙写真説明▶

クローラ式アスファルト

フィニッシャ HA 36 C

住友重機械建機販売株式会社

本機は最近ますます活発化している造成地や山間道などの傾斜地舗装、軟弱地舗装に特に効果を発揮するよう開発されたもので、安定性のすぐれた大形クローラ、余剰を生むエンジン、合材送り量調整の容易な2条式コンベヤ、運転の楽なワンマンコントロール方式など、経験と実績を生かしたすぐれた機構となっている。

なお、表紙写真は岐阜県岐阜野高原宅地造成地で舗装工事に稼働中の本機である。

主要仕様

- 舗装幅: 2.4~3.6 m
- 舗装厚: 10~150 mm
- クラウン量: +3%~-1%
- 舗装速度: 2.55~19.0 m/min (5段変速)
- 登坂能力: 8% (4°35')……舗装時
- ホッパ容量: 6,000 kg
- エンジン出力: 35.5 PS
- 全装備重量: 7,400 kg